

番 号 : 131263

国 名 : キルギス

担当部署 : 農村開発部 畑作地帯課

案件名 : 農業投資促進政策アドバイザー業務

1. 担当業務、格付等

(1) 担当業務 : 農業投資促進政策アドバイザー業務

(2) 格 付 : 2号

(3) 業務の種類 : 専門家業務

2. 契約予定期間等

(1) 全体期間 : 2014年2月中旬から2015年1月下旬まで

(2) 業務M/M : 国内 0.5M/M、現地 7.00M/M、合計 7.50M/M

(3) 業務日数 : 準備期間 現地業務期間(3回) 国内作業(2回) 整理期間
4日 210日 4日 2日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

(1) 簡易プロポーザル提出部数 : 1部

(2) 見積書提出部数 : 1部

(3) 提出期限 : 1月22日(12時まで)

(4) 提出方法 : 専用アドレス (e-propo@jica.go.jp) への電子データの提出、

または調達部受付 (JICA本部1F) への書類の提出

※2013年10月2日以降の公示案件(業務実施契約単独型のみ)より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を試行導入しています。提出方法等詳細についてはJICAホームページ(ホーム>JICAについて>調達情報>お知らせ)をご覧ください。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

(1) 業務の実施方針等 :

① 業務実施の基本方針 16点

② 業務実施上のバックアップ体制等 4点

(2) 業務従事予定者の経験・能力等 :

① 類似業務の経験 28点

② 対象国又は同類似地域での業務経験 8点

③ 語学力 16点

④ その他学位、資格等 12点

⑤ 業務従事者によるプレゼンテーション 16点

(計100点)

類似業務 : 農産物流通改善に係る各種業務

対象国/類似地域 : キルギス/全途上国

語学の種類 : 英語

5. 条件等

(1) 参加資格のない社等 : 特になし

(2) 必要予防接種 : なし

6. 業務の背景

キルギスの農業分野のGDPに占める割合は、2010年において18%、輸出額の14%程度(約164百万ドル、2012年)であるが、人口の66%が農村部に居住し、労働人口の3割以上(地方部では6割以上)は農業に従事しており、重要な産業である。しかしながら、農村部における絶対貧困層の割合は山岳部の州で30%を超えて(2009年、世銀)おり、貧困削減は大きな課題となっている。

旧ソ連崩壊後、協同組合農場(コルホーズ)と国営農場(ソフホーズ)は解体あるいは民営化

され、農地は世帯構成数に応じて分配・細分化された。独立直後にキルギスが導入した国家調達制度の廃止及び農地の私有化等の市場経済化政策は、農家に対して生産と収入向上へのインセンティブを与え、1990年代中盤から2000年代前半まで他の中央アジア諸国に比較して、高い農業生産性の向上が見られた。しかしながら、旧ソ連時代に整備された灌漑施設や農業機械の老朽化に加え、小農への営農指導サービスの廃止や、集団・国営農場時代の連邦内分業体制や販路・流通制度の崩壊等の影響を受け、農業生産性は停滞しており、むしろ効率性を欠く小規模農業の問題点が露呈している。

小規模農業の非効率性を補うには、高い収益を見込める換金性の高い労働集約型農業（野菜、果樹）や畜産等の導入と共同出荷を可能とする農民組織化への取り組みが有効であり、キルギス農業土地改良省（本協力のカウンターパート(C/P) 機関）としてはこれらの取り組みによる農業生産性の向上を、将来の輸出振興による外貨獲得へつなげることを念頭に置いている。

このような背景の下、今般キルギス政府からは、今後、農民組織化促進や経済性の高い農業形態を支える農産物マーケット環境の整備に取り組むにあたり、課題整理と施策提案を支援するための個別専門家の派遣要請がなされた。

7. 業務の内容

本個別専門家は、将来の農産物輸出振興を念頭に置き、生産現場（農民組織化及び営農形態）と農産物流通の両段階におけるそれぞれの課題を把握しつつ、各ドナー機関との連携を意識しながら、今後キルギスにおいて農産物流通改善を推進するための施策を整理し、取り組むべき改善策をキルギス農業土地改良省の事務次官へ提示することを目的とする。

なお、本件の案件名はキルギス政府からの要請に基づき「農業投資促進政策アドバイザー」とするが、要請書に記述される目標を考慮し、業務内容は農産物流通改善を主分野とする。

(1) 国内準備期間（2014年2月下旬）

- 1) 既存の文献及び統計情報などを基に、キルギス農業の全体を俯瞰し、把握する。
- 2) ワークプラン（英文）を作成する。

(2) 第1次現地派遣期間（2014年2月下旬～4月中旬）

- 1) 第1次現地派遣期間のワークプランを JICAキルギス事務所、及びC/P等に説明し、業務計画を確認する。
- 2) キルギス政府及び各ドナー機関等が作成した農産品流通促進に関する政策や提言、調査等のレビューを行い、生産現場の状況（農民組織化及び営農形態）及び農産物流通における現状と課題を把握する。
- 3) 関税同盟の最新の動きについて情報を整理し、月例報告に取りまとめる。
- 4) 農産品流通改善のために必要な政策提言の方向性についてキルギス側C/Pと協議し、骨子を取りまとめる。
- 5) ドナー機関等と情報交換を行う。
- 6) 第1次現地業務報告書（案）を作成し、JICAキルギス事務所及びC/P等に説明する。

(3) 第1次国内作業期間（2014年4月下旬）

- 1) JICA農村開発部に現地業務結果報告書（英文）を提出し報告を行う。
- 2) 第1次現地派遣期間の活動結果に基づき、第2次現地派遣期間のワークプラン（英文）を作成し、JICA農村開発部へ説明し、提出する。

(4) 第2次現地派遣期間（2014年6月上旬～9月下旬）

- 1) 第2次現地派遣期間のワークプランを JICAキルギス事務所、及びC/P等に説明し、業務計画を確認する。
- 2) 第1次派遣期間で把握した生産現場の状況及び農産物流通における課題に対し、必要に応じて補足的調査を実施する。
- 3) 関税同盟の最新の動きについて情報を整理し、月例報告に取りまとめる。

- 4) 農産品流通改善のために必要な政策提言及びそれらの取組優先順位と具体的なロードマップを、キルギス側C/Pと協働して整理する。
 - 5) 農産品流通の改善に関して、各関係者の担うべき役割分担に関し、C/Pに対し助言を行う。
 - 6) C/Pが取り組むべき改善事項に関しオーナーシップを醸成するために、上記3)及び4)の内容に関し、キルギス側が発表するワークショップを開催する。(派遣期間中1回以上)
 - 7) ドナー機関等と情報交換を行う。
 - 8) 第2次現地業務報告書(案)を作成し、JICAキルギス事務所及びC/Pに説明する。
- (5) 第2次国内作業期間(2014年10月上旬)
- 1) JICA農村開発部に現地業務結果報告書(英文)を提出し報告を行う。
 - 2) 第2次現地派遣期間の活動結果に基づき、第3次現地派遣期間のワークプラン(英文)を作成し、JICA農村開発部へ説明し、提出する。
- (6) 第3次現地派遣期間(2014年10月下旬～12月中旬)
- 1) 第3次現地派遣期間のワークプランを JICAキルギス事務所、及びC/P等に説明し、業務計画を確認する。
 - 2) 第2次現地派遣期間終了後以降にキルギス側C/Pで検討を進める政策提言、具体的取組計画、及び役割分担の整理・調整に関し、作業の進捗状況を把握しつつ助言を行う。
 - 3) 上記2)の検討作業結果をキルギス側で総括するための、ワークショップ開催を支援する。(派遣期間中1回以上)
 - 4) ドナー機関等と情報交換を行う。
 - 5) キルギス政府、民間(農協などの農民組織を含む)が担うべき役割を整理し、農産品流通分野における実行可能な案件プロポーザル(案)を整理する。
 - 6) 専門家業務完了報告書(案)を作成し、JICAキルギス事務所及びC/Pに説明する。
- (7) 帰国後整理期間(2014年12月下旬)
- 1) 専門家業務完了報告書(和文)(英文)を取りまとめる。
 - 2) 帰国報告会に出席し、活動結果を報告する。

8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

なお、本契約における成果品は(3) 専門家業務完了報告書とする。成果品の体裁は簡易製本とし、電子データも併せて提出すること。また上記成果品の体裁は簡易製本とし、電子データも併せて提出すること。

- (1) ワークプラン(各次英文3部: 農村開発部、キルギス事務所、C/P機関)
現地派遣期間中に実施する業務内容を関係者と共有するために作成。業務の具体的内容(案)などを記載。
- (2) 第1次及び第2次現地業務結果報告書(英文3部: 農村開発部、キルギス事務所、キルギス側C/P機関)
記載項目は以下のとおり。
 - ①業務の具体的内容
 - ②業務の達成状況
- (3) 専門家業務完了報告書(和文・英文各2部: 農村開発部、キルギス事務所)
記載項目は以下のとおり。
 - ①業務の具体的内容
 - ②業務の達成状況
 - ③業務実施上遭遇した課題とその対処
 - ④プロジェクト実施上での残された課題

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約見積書作成の手引き」(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>)を参照願います。留意点は以下のとおりです。

(1) 航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みます（見積を計上して下さい）。航空経路は、成田⇒イスタンブール⇒ビシュケク⇒イスタンブール⇒成田を標準とします。

キルギス国内で移動が必要な場合の交通費（航空賃）については、キルギス事務所が手配します。

(2) 臨時会計役の委嘱

以下に記載の一般業務費については、JICAキルギス事務所より業務従事者に対し、臨時会計役を委嘱する予定です（当該経費は契約には含みませんので、見積書への記載は不要です）。

- ・車両関係費：3,300円×200日＝660,000円
- ・資料等作成費：10ドル×100頁＝1,000ドル（100,000円）
- ・消耗品費：1,000ドル（100,000円）
- ・ワークショップ開催（2回分）：3,000ドル（300,000円）

臨時会計役とは、会計役としての職務（例：現地業務費の受取り、支出、精算）を必要な期間（例：現地出張期間）に限り機構から委嘱される方のことをいいます。臨時会計役に委嘱された方は、「善良な管理者の注意義務」をもって、経費を取り扱うことが求められます。

10. 特記事項

(1) 業務日程／執務環境

1) 現地業務日程

現地派遣期間は以下を予定していますが、ある程度の調整は可能です。

第1次派遣：2014年2月下旬～4月中旬（1.5か月）

第2次派遣：2014年6月上旬～9月下旬（4.0か月）

第3次派遣：2014年10月下旬～12月中旬（1.5か月）

2) 現地での業務体制

本業務は個別案件であるため、JICAによる先方機関への当初アポイント取り付け及び当面の国内出張に関する支援はキルギス事務所が担当します。

3) 便宜供与内容

JICAキルギス事務所による便宜供与事項は以下のとおりです。

- ① 空港送迎（第1次派遣）
あり
- ② 宿舍予約手配（第1次派遣着任直後1週間）
あり
- ③ 車両借上げ予約手配（第1次派遣着任直後1週間程度）
あり
- ④ 通訳備上
あり（英語-ロシア語）
- ⑤ 現地日程のアレンジ（省庁へのアポイント等）
JICAキルギス事務所がアレンジします。
- ⑥ 執務スペースの提供
農業土地改良省内の執務スペース提供

(2) 参考資料

本業務に関する以下の資料が当機構図書館のウェブサイト (<http://libopac.jica.go.jp/>)で公開されています。

・キルギス国 農産品輸出促進・農民組織化強化に係る情報収集・確認調査 ファイナルレポート（2013年6月）

また、本業務に関する以下の資料をJICA農村開発部畑作地帯課（TEL:03-5226-8442）にて配布します。

・キルギス国酪農産業にかかる情報収集・確認調査（2013年11月）

（3）その他

1）本件は、業務従事予定者によるプレゼンテーションを実施する予定です。

ア 実施時期：1月24日（金）（予定）

（詳細な日時は、プロポーザル提出後、別途指示します。）

イ 実施場所：独立行政法人国際協力機構内会議室

ウ 実施方法：

（ア）一者当たり最大、プレゼンテーション10分、質疑応答15分

（イ）プレゼンテーションは、業務従事予定者が業務実施方針、提案事項の説明を行う。

エ 出席者：業務従事予定者以外の出席を認めない。

2）業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます（冒頭留意事項参照）。

3）本業務においては、年度に跨る契約（複数年度契約）を締結することとする。見積書については、年度で分けずに全業務期間分一括して作成すること。

4）本案件の専門家は、日本国政府の施策「緑の未来協力隊」（※）のひとつとして位置づけられる。専門家としての活動自体は通常の技術協力と同様であるが、「緑の未来協力隊」への趣旨を理解し、緑の未来協力隊ホームページへの活動記録の公表等、広報活動について協力を行う（右協力の有無による契約金額等の変動はない）。

※緑の未来協力隊：日本政府は、平成24年6月の国連持続可能な開発会議（リオ+20）での玄葉大臣の政府代表演説の中で、環境未来都市の世界への普及、世界のグリーン経済への移行、強靱な社会づくりの3本柱を中心とする貢献策「緑の未来」イニシアティブを発表。グリーン経済への移行のための具体的支援の一環として、今後3年間で1万人規模の「緑の未来協力隊」を編成して途上国の人づくりに協力することを表明した。

緑の未来協力隊ホームページ：

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiiko/kankyo/mmk/index.html>

以 上